



会報

WEEKLY REPORT

世界に希望を生み出そう

2023-24 R.I.会長

ゴードン.R. マッキナリー

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/石岡 幸雄

副会長/萩原 敬一郎

幹事/南出 雅樹

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3112回 例会報告

2024.4.5

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

■点鐘

石岡 幸雄 会長

■国歌斉唱

■ロータリーソング (四つのテスト)

■4月誕生祝

| | | | |
|----------|----------|---------------|----------|
| 秋田谷文雄 会員 | S27.4.30 | 阿部 誠 会員 | S30.4.28 |
| 林 学 会員 | S31.4.4 | 来海 有起 会員 | S33.4.5 |
| 高橋 章 会員 | S40.4.13 | 畠山 美和 会員 | S42.4.13 |
| 窪田 篤弘 会員 | S49.4.4 | 阿部 誠 会員 (郁子様) | 4.2 |

■バースデーソング

■乾杯

■会食

■会長挨拶

石岡 幸雄 会長



皆さんこんにちわ。

先月24日に、当クラブの最年長会員である石原会員がご逝去されました。27日の告別式で、北クラブを代表して、弔辞を読まさせて頂きました。石原会員はクラブ在籍40年で、例会にもほぼ100%出席して下さり、ゴルフや麻雀などの同好会にも積極的に参加していました。本年度、木戸会員につき2人目の悲しいお知らせになりましたが、皆様もくれぐれも健康にはお気をつけ下さい。さて先週は、第6分区のIMで齋藤会員と松岡会員による北クラブの紹介ありがとうございました。本日の例会終了後には、次年度の第1回クラブ協議会が開催され、いよいよ村上次年度の本格的なスタートとなります。私も残り3ヵ月、全力で会長職を務めます。明日は4年ぶりに麻雀大会が開催され、来週には、健康情報委員会のボーリング大会も予定しております。たくさんの方のご参加をお願い致します。ここで、先日行われた、十勝ロータリー奨学会・理事会の報告をさせていただきます。次年度の奨学金支給者は、定員3名に対し、応募者が3名あり、選考委員会で選出し、理事会で承認されたのは1名でした。今後、募集の方法や、親の所得の内規など、見直さなければならぬ課題があるようです。奨学金の支給式は、今月24日の音更RC、帯広東RCとの合同例会の中で、行う予定です。以前から問題提起していた、十勝ロータリー奨学会の寄付金についてですが今年打込の一人5000円の徴収の中止がやっと理事会で承認されました。

次年度からは有志の方々から任意の寄付を募ることとなり各クラブの目標は一クラブ10万となりました。皆様のご協力よろしくお願い致します。これで会長挨拶を終わります。

■会務報告 南出 雅樹 幹事

帯広北RC 次年度第1回クラブ協議会開催のご案内 (本日例会終了後)

日時 令和6年4月5日(金) 午後1時45分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

出席対象者: 2024-25年度 理事・役員・委員長

帯広北RC 夜間移動例会開催のご案内

日時 令和6年4月12日(金) 午後6時00分

場所 GIDO BOWL ドリームタウン白樺

(ディノスボウル帯広)

帯広北RC・帯広東RC・音更RC合同例会のご案内

～十勝ロータリー奨学会支給式～

日時 令和6年4月24日(水) 午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

※帯広北RCは4月26日(金)の繰上げ例会と致します。

■委員会報告

- ・中島 慎也 副幹事
- ・青少年プログラム委員会 齋藤 政樹 委員長
- ニコニコボックスの発表 萩原 敬一郎 副会長

- ・誕生日に記念品を頂き有難うございました。
高橋 章 会員、来海 有起 会員
- ・本日のクラブ協議会よろしくお願ひします。
村上 道隆 会員
- ・無事に息子が高校に入学できそうです。
齋藤 雅樹 会員
- ・2女が大学に入学しました。
高田 義久 会員
- ・お花見、いいですね。
長谷川 道正 会員
- ・孫自慢です！北海道中学生バレーボール優秀選抜大会女子の部で帯広選抜が優勝しました。女子バレー十勝はレベルが高いです。ちなみに孫は1年生でレギュラーでした。
松原 光一 会員



・IMお疲れ様でした。今日クラブ協議会です。よろしくお願ひします。

中島 慎也 会員

・今までありがとうございました。

石原 智 会員

■プログラム 曾我 浩昌 プログラム委員長
【 新入会員卓話 】 渡辺 紘生 会員



皆様、大変お世話になっております。本年1月に伝統ある帯広北ロータリークラブに入会させていただきました渡辺です。なかなか例会に来れずに申し訳ありません。本日は、新入会員卓話ということでご指示を受けましたので、お話をしたいと思ひます。何を話そうかと思ひましたが、自己紹介という趣旨で私の経歴を踏まえて、お話しさせていただければと思ひます。別に面白い話はありませんが、どうぞよろしくお願ひします。

私は、昭和59年(1984年)に帯広市で生まれました。父と母は、共に教員であり、父は浦幌町(上浦幌)、母が池田の人間ですので、ルーツは十勝にあり、姉妹、私の3人兄弟となります。父が教員ということもあり、私の幼少期は郡部を転々としていたそうですが、私の記憶では、幕別町本町の緑町で教員住宅に住み、幕別小学校1年生が終わった時に、帯広市に転居しています。帯広市への転居先は、西24条3丁目で三条高校の近くの西帯広で、今でも実家はここにあります。私が行った当初は、フクハラもしまむらもなく、畑や水田が広がっており、30年近くで大きく様相が変わったところでもあります。今では、私の実家の100メートルほどの距離に「つつじが丘小学校」という学校があるのですが、私の小学生時代はありませんでしたので、西22条3丁目あたりにある帯広開西小学校に通っていました。距離が2キロ近くあったと思ひますので、よく通っていたなと思ひます。なお、私の小学生だったころに、街中にはイトーヨーカドーがあり、藤丸もあり、新しく長崎屋ができ、映画館がいっぱいあって、同級生とバスに乗ってドラゴンボールやらスラムダンクやらをよく見に行っていた記憶があり、今の街を見ていると寂しい気持ちにもなってきます。小学校の卒業後は、二中に行き、それから柏葉高校に通いました。私は、柏葉の52期とかだったと思ひますが、私の年次はちょうど旧校舎から新校舎(今の校舎)に移ったときであり、高校3年の3ヵ月ほど新校舎に通いました。今年の年始に卒業後20年の同窓会があった際に昔の写真が出て来て、旧校舎を見た際には、年を取ったというように感じました。高校時代は、北海道ホテルでバイトをし、この頃に覚えてしまった麻雀を同級生と切磋琢磨していたこともあり、学業を疎かにしてしまい、卒業後に予定浪人し、札幌の予備校に通いました。寮に入りましたが、テレビもなく、4畳の一室にデスクとベッドだけはあり、携帯電話はありましたが、今とは違い、

電話だけできるものでしたので、全く娯楽がない、監獄のようなところで、2002年で日韓ワールドカップがありました。札幌駅の待合室のテレビで見て、ああ辛いと思ひた記憶があります。1年の浪人の末、東京の慶應義塾大の文学部に入学しました。弁護士ですが、法学部専攻ではない。文学部とはいっても、文学に興味があったわけではなく、主に教育学部を中心に受験しており、慶應大は文学部の中に教育学専攻がありましたので、文学部を選んでいきます(結局選んでいませんが)。ただ、大学時代は比較的テニスをちゃんとやるという、あまりキャピキャピしていないテニスサークルに入ってしまった、てっとりばやく友人はできたが、相変わらず麻雀や競馬、飲み会に明け暮れる日々を送っており、社会勉強の方が大事という考えのもと、遊んでばかりいた気がします。あっという間に4年が経ち、リーマンショックのちょっと前で就職氷河期でしたが、普通に就職活動をし、2007年金融機関の何社か、損保会社から内定をもらっていました。何か自分がやりたいこととは違う気がしていた中、全国各地の様々なところから集まる大学では、珍しい北海道の道東出身者であるということが一つのアイデンティティにもなっており、もう東京は満足だから北海道に帰りたいなという考えのもと、卒業論文の関係で十勝の過疎地域を訪れ、その現状を知りました。こういうところで、活躍できる人間とはどういうものかを考えたとき、珍しい資格を取って社会インフラになればと思ひ、当時まだ新設されたばかりの法科大学院に興味を持ち、内定を取りやめ、このとき4年生の半ばで法科大学院入学試験が終わっていたので、次の年に受けることにしました。なお、法科大学院は法学未修者3年、既修者2年というコースがあり、今は学生400人くらい、当時15人くらい、全く未修者であった私でも3年勉強すれば、何とかなるのではないかと思ひていました。こうしてまた1年浪人して、2008年立教大学の法科大学院に入学し、全く1からの勉強で大変でしたが、大学の同級生たちがぞくぞくと就職し、ぱりぱり働いているのを尻目に頑張って勉強しまして、3年で無事卒業し、卒業年の新司法試験に何とか合格しました。東日本大震災の年。その後は、函館市で司法修習生として1年間過ごし、もう2回目の国家試験があるのですが、それを終え、弁護士1年目は札幌の法律事務所勤務を始めました。この札幌の事務所というのが、「すずらん基金法律事務所」という名前、北海道内の過疎地域(弁護士過疎地域)に派遣する弁護士を2年ほど養成するという目的で北海道弁護士会連合会という組織が設置する公設事務所となります。この事務所は、北海道内の弁護士過疎地域に日本弁護士会連合会が設置する「ひまわり基金法律事務所」に派遣される弁護士を要請する事務所となります。要は法的なサービスや手続をとろうにも取れない、弁護士に相談しようにも近くにいないという方々のための事務所となります。ただ、概ね2年くらいの養



成を受けた際には、このひまわり基金法律事務所の所長弁護士は2年から3年ほどの任期があり、後任と交代とういこととなりますが、その任期を5年まで延長できるというものであって、私が3年目の赴任をする時期にはちょうどこの事務所も任期の延長等により空きがなく、1年くらい待たなければならないという状況でした。そんな状況なのであれば、いっそ新たに事務所を作った方がいいと思いました、基本的に弁護士の仕事は地方裁判所が仕事先となるのが一般的であり、当時の日弁連の弁護士過疎の基準が「ゼロワン」地域、要は地方裁判所支部を単位として1つ以下の法律事務所であれば、弁護士過疎地域である基準でした。この基準においては弁護士過疎は一応現在は解消されていますが、北海道は広大な面積がある中で、地方裁判所支部だけではなく、近くには簡易裁判所しかない地域というのも存在しており、独立簡易裁判所地域を視野に含めなければならないのではないかと考えたのもと、ちょうど地元の十勝、本別町に独立簡裁がありましたので、ここに事務所ができれば赴任するという話をしていたところ、北海道弁護士連合会、釧路弁護士会、特に帯広の同業の方々からも協力をいただき、本別町に本別ひまわり基金法律事務所が開設され、その初代所長弁護士として赴任することになりました。H27.～来年で10年 現在は3代目が所長になっています。本別簡裁管内は、本別、足寄、陸別となり、地裁としては帯広支部が管轄となりますが、勿論ながら人口も3町合わせて1万5000人ほどでバンバン紛争のおきる地域でもないし、それほど事件が多いというところではなかったもので、特に最初の1年、2年は周知もされておらず、湯水のように貯金がなくなるという状況でした。何とか3年目、4年目くらいには、本別でも周知されるようになって、帯広や周辺の仕事等もありましたので、何とか人並み程度に生活ができるようになりました。特に本別では商工会青年部に入り、今でも友人である人も多く、よくある一般民事の仕事だけではなく、町の色々な役回りが飛んできたので、特に役場の人とも交流があり、役場から行政的な相談が増えてきました。ただ、この頃は、地域活性化とか行政関係に興味がありましたが、あまり当時は行政関係の知識がなく、こういった知識をつけたいと思うようになりました。(こういうところでやっていくには行政の知識が必要。) こうして本別での任期を終えた後に、これまでとはまた

違う経験、地方公共団体内部の任期付弁護士職員に関心を持つようになり、たまたま本別の後任弁護士の募集を掛けていたところ、後任弁護士が決まったこともあり、本別で4年間の任期を終え、岩手県花巻市というところで任期付弁護士職員となりました。なお、できれば北海道でできればよかったです。今でも北海道はあまり内部に弁護士を置くというところが少なく(この時期には一つもなかったと思います。)、東京にあるような大規模な自治体には興味がなく、タイミングが合う自治体の中で最も北海道に近かった岩手県花巻市(北見市くらいの規模で北海道にもこのくらいの規模が多いから)を選ぶことになりました。自治体内部では、どのような業務をしていたかというのと、職員からの法律相談、契約書や条例規則要綱案のチェック、訴訟対応(審査請求対応)、議会対応、不祥事対応、顧問弁護士とのやり取りが主な内容となります。顧問弁護士がいるのになぜ必要かとよく聞かれるのですが、顧問弁護士には、日々起こる細かな法律相談を全て聞いたり、引き受けてもらったりすることはできませんし、全てが訴訟になるわけではなく、内部で訴訟にならないように対策することが重要ですので、ある程度間引きを行う必要があります。役所内の見解をまとめてから相談するというような作業(外部の弁護士だと多分できない。)も必要ですので、役割が全く違うということになります。「地方自治体は法律や条例の執行を行うわけですので、結構解釈が問題になることや1年で何千件の行政処分や契約を締結することになります。様々な分野の問題があり、前例のないものもあつたりと色々試行錯誤が必要でしたが、組織で働くという経験を含め、勉強になったと思います。」長年やっている運用の間違っているということを見たり、直すというのはすごい大変なこと。任期が3年でしたので、任期終了後は、そろそろ帰るか、1つの場所に留まろう、地元帯広に戻って開業したいと思い、令和4年4月に開業し、ちょうど2年くらいが経ちました。今年は上の長男が来週月曜日に小学生になるということで、あっという間に30代が終わり、40歳になりました。私は事務職員を雇わずに一人で事務所をやっていますので、どうしても例会に来られない日もあり、もろに子育て世代でもありますので、多めに見ていただければ幸いです。ご清聴ありがとうございました。

■次週のプログラム予定

「夜間移動例会」

■閉会宣言

■点鐘

石岡 幸雄 会長

例会案内

〈月曜日〉広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉足寄RC:足寄銀河ホール21
 帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
 〈火曜日〉芽室RC:めむるーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル
 帯広東RC:ホテル日航ノースランド

■出席報告/長谷川道正 出席委員長

| 会員数 | 計算に用いる 会員数 | ホームクラブ 出席数 | メイクアップ | 欠席 | 出席率 |
|-----|---------------|---------------|--------|----|-------|
| 65 | | 38 | | | 63.3% |